

中津川JTの森 活動状況を紹介

オンライン交流会

日本たばこ産業(JT)は、森林保全活動に取り組む中津川市蛭川の「JTの森 中津川」の活動を振り返る交流会をオンライン配信し、東海支社の社員やその家族が参加した。

JTは2008年に県と同市と3者協定を結び、毎年春と秋に下草刈りや遊歩

道整備、木工教室など幅広い活動に取り組み、地域貢献を目指している。新型コロナウイルスの影響で現地での活動が難しい状況が続く中、オンライン交流会を企画した。

地元の蛭子座をメイン会場に行われ、アーティストのRYUREX(リュウレックス)さんが進行役を務めた。植栽地や遊歩道整備地の現場と中継を結び、活動状況を紹介した。また同市や蛭川特産品の紹介コーナーも設け、杵振り踊り保存会の林松幸会長は衣装や保存継承活動について説明した「写真」。JT岐阜第二支店の竹内修支店長は「この地で楽しめる日がま

た来るといい」と願いを話した。
(青山和史)

